



Kobe Shoin Women's University Repository

KARASHI-DANE

## コーパスで何ができるか

著者	西垣内 泰介
雑誌名	トークス = Theoretical and applied linguistics at Kobe Shoin : 神戸松蔭女子学院大学研究紀要言語科学研究所篇
巻	24
ページ	45-59
発行年	2021-03-05
URL	<a href="http://doi.org/10.14946/00002248">http://doi.org/10.14946/00002248</a>

## コーパスで何ができるか\*

西垣内 泰介

神戸松蔭女子学院大学 言語科学研究所

gauchi[at]shoin.ac.jp

---

### What can you do with the corpus?

Taisuke Nishigauchi

Shoin Institute for Linguistic Sciences, Kobe Shoin Women's University

#### Abstract

コーパスは言語を研究する上で強力なツールであるが、たとえば英語を学習しないし研究するものにとって具体的にどのような使用方法があるのか、学部が英語の学習に役立てることができるのかという観点でいくつかの具体例を提示する。「英語でこんなことは言えるのか」という疑問に答えてくれるツールとして使えること、「軽動詞」をめぐるコロケーションを調べるツールとして使えること、さらに英文法のテキストに書かれている内容を検証することに活用できることについて考察する。

This short paper considers the ways in which the corpus can be utilized to shed light on some aspects of English grammar. Specifically, we show that the corpus has the potential of shedding light on some usage issue, collocation issues, and can be used as a tool with which to critically evaluate what is stated in grammar textbooks.

キーワード: コーパス, COCA, コロケーション, 軽動詞, 否定対極表現, 否定倒置構文

**Keywords:** corpus, COCA, collocation, light verbs, negative polarity items, negative inversion

---

\*2020 年度は、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大のため、大学での授業がオンラインで行われることになった。学部の授業「英語コンピュータ特論 B」では、受講学生が自宅でもできるコンピュータ実習ということでコーパスを使って英語学習に役立てるというテーマで授業を行った。学生にコーパスの使用法を教え、英語の学習に役立てる方策を提案したり指導する中で私自身新たに学ぶことが多かった。この文章は同授業から私自身が学んだ内容のまとめである。Philip Spaelti 氏の助言に感謝申し上げたい。本研究の一部は、日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 「「視点」にかかわる言語現象と理論言語学」(2018 年度～2022 年度、研究代表者: 西垣内 泰介、課題番号: 18K00599) による援助を受けている。

## 1. はじめに

この文章では、Brigham Young University の Mark Davies によって開発、運用されている COCA (Corpus of Contemporary American English) を用いて、コーパスをコーパス言語学という観点ではなく、英語を研究、学習する上で役立つ知的ツールとして用いる可能性を探っていきたい。

コーパスは言語を研究する上で強力なツールであるが、たとえば英語を学習ないし研究するものにとって具体的にどのような使用法があるのか、学部が英語の学習に役立てることができるのかという観点でいくつかの具体例を考えてみたい。「英語でこんなことは言えるのか」という疑問に答えてくれるツールとして使えること、「軽動詞」をめぐるコロケーションを調べるツールとして使えること、さらに英文法のテキストに書かれている内容を検証することに活用できることについて考察する。

## 2. 「サイフを忘れた」

### 2.1. I forgot my wallet??

私は高校生のころ、参考書であったか受験雑誌であったか「サイフを忘れた」を英訳するのに

#### (1) I forgot my wallet.

とするのはよくないと書かれているのを読んだ記憶がある。日本語の「忘れる」をそのまま英語の forget と訳すのは日本語話者のする典型的な誤りのひとつだ というのである。それにかわって、そこで薦められていたのは次の文である。

#### (2) I left my wallet at home.

日本語の「(置き) 忘れる」は、英語の leave + 目的語 + 場所表現 で表すべきだ というのである。

私はこの記述がとても印象に残っていて、何十年もたった今も覚えているのだが、なるほどと思う反面、本当にそうなんだろうかという疑問が残っている。

このように、英語でこういう風に言えるのだろうか、逆に言えないのだろうかという疑問が出たとき、これまでなら文法書にそういう記述や例文が出ているかを調べ、そこで見つからなければ身近にいる英語のネイティブ・スピーカーにたずねてみるという以外に方法はない。

そういう質問ができる英語のネイティブ・スピーカーが身近にいる人は多くないだろう。私が学部教育を受けた大学では元 BBC のアナウンサーという外国人教師に 4 年間とても親しく指導して頂いたが、言語学に関心を持つようになってから、こういう文は言えますか、容認可能 (acceptable) ですか という質問をしても、そういう判断に関する質問は断っている という反応だった。

仮に (1) について判断を示してくれる人がいたとしても、英文法や英語の語法の専門家がいる確率は低いのが普通である。得られる反応は、自分はそのように言う・言わない、

人が言っているのを聞いたことがある・ない、といった個人的な観察に限られる。客観的な判断やデータを得ることは望むことができなかった。

2.2. コーパスで「サイフを忘れた」

このような時、コーパスは驚くほど簡単に (1) についての素朴な疑問を解いてくれる。コーパスはさまざまなタイプの文章で見られる、さまざまな人による書きことば、話ことばが記録されたデータベースである。Forgot my wallet という表現がこのデータベースの検索でヒットすれば、この表現が一般的な書きことばないし話しことばで用いられているということになる。

では、COCA の単純検索を用いて forgot my wallet で検索してみよう。図 1 がこの検索と検索結果を示す。38 件と、微妙なヒット件数だが、forgot my wallet を含む文がコー

図 1: Forgot my wallet の単純検索



パスの中に存在することがわかった。図 6 で見るように、forgot の他の時制活用形と他の代名詞を含む形式で見ると 83 件となる。この検索によって得られる文の最初に出てくるものを図 2 に表示する。表示される文を見ると、いずれも日本語の「サイフを忘れた」

図 2: Forgot my wallet の単純検索で得られる文

CLICK FOR MORE CONTEXT				[?] SAVE LIST CHOOSE LIST CREATE NEW LIST [?]			
1	2018	TV	Kevin (Probably) Saves the World	A	B	C	? Oh, my God! I am so hungry, and I forgot my wallet. Hey, Mr. Finn. I remember. I just war
2	2017	MOV	Fear, Inc.	A	B	C	guess it's... Shit, um, actually it looks like I forgot my wallet at home, Officer. How were you
3	2016	MOV	Last Man Club	A	B	C	Driver's license and registration, please. Oh, god, I forgot my wallet. Do you have any regis
4	2016	MOV	The Convenient Groom	A	B	C	not a " K ". Did you bring money? Because I forgot my wallet. Yeah, I have money. I'll just h
5	2015	TV	Mom	A	B	C	about if I'm buying? Okay. Got any cash? I forgot my wallet. So, uh, what'd you think of you
6	2014	SPOK	CBS: 48 Hours	A	B	C	love you B. And then I left, got up the road, forgot my wallet. RICHARD-SCHLESINGE# Nodi
7	2013	TV	Modern Family	A	B	C	?- I'm at that coffee shop on 3rd, and I forgot my wallet. Can you come bail me out? Ugh. I
8	2012	FIC	Bk:PirateCinema	A	B	C	, then said, in a showy voice, " Dearie me, forgot my wallet. " He took the cart out of my ha
9	2012	MAG	AmSpect	A	B	C	, the conversation was brief. # " Hey, babe, I forgot my wallet. I'm just gon na run in and ge
10	2012	TV	Suburgatory	A	B	C	in some strange way, I was happy that she was happy. Forgot my wallet. Oh. I assume you

という意味に相当する文であることは間違いなさそうである。

ここまでで、「サイフを忘れた」を英語で表す文として (1) が間違いだという冒頭の記述は正しくないらしいということが判明した。

では、冒頭の記述で推奨している (2) の left my wallet を含む文を検索してみよう。図 3 がその検索結果の件数を示す。ヒット件数は 99 件で、これも多くはないが (1) の 38 件

図 3: Left my wallet の単純検索結果

HELP	<input type="checkbox"/>	CONTEXT	ALL FORMS (SAMPLE): 100 200 500	FREQ
1	<input type="checkbox"/>	LEFT MY WALLET		99

より多く、(2) の方がよりよく用いられる表現であることが示される。図 6 で見るように他の時制活用形と代名詞を含めると 198 件となる。図 4 は left my wallet で単純検索して得られる例文の一部を示す。

図 4: Left my wallet の単純検索で得られる文

1	2019	MOV	Her Boyfriend's Secret	A B C	I thought you were running errands. I was until I realized I <b>left my wallet</b> . Um, did you see Travis?
2	2019	TV	SMILF	A B C	through here. I just need to go get my wallet. I <b>left my wallet</b> on the plane. No, that's against the
3	2019	TV	The Passage	A B C	or what? Yeah, I do. I just, uh, <b>left my wallet</b> across the street, but, uh... Look at that. Help is on
4	2018	MOV	Find Me	A B C	I found out he's a raging asshole when he drinks, I <b>left my wallet</b> in there which has my credit car
5	2017	TV	Sneaky Pete	A B C	? Yeah, uh, I'm an idiot. I... I <b>left my wallet</b> on the night stand at the hotel. I'm so sorry. I do
6	2016	MAG	Engadget	A B C	more than enough to get me through days at the office when I <b>left my wallet</b> at home. You'll hav
7	2016	MOV	I Love New York	A B C	Actually. I wanted to borrow some money. Excuse me? I <b>left my wallet</b> in Chicago.. and telephon
8	2016	MOV	Colin Quinn: The New York Story	A B C	about it too. " Gim me your money. " " I <b>left my wallet</b> home. " " You got your mugger money, rig
9	2015	MOV	Trainwreck	A B C	... Fuck you. I think... Fuck you. I think I <b>left my wallet</b> . Fuck you. It's in the car. Fuck you. So that
10	2015	TV	F is for Family	A B C	. I got ta go back. - You what? - I <b>left my wallet</b> there. So I got ta go back for it. Wait for me here
11	2014	FIC	Bk:DeathChocoholic	A B C	ofhis chair, before giving Hayley a sheepish grin. " I must have <b>left my wallet</b> in the car. You wait f

ここまでの検索と観察から、次のことが言える。

1. 「サイフを忘れた」の英語訳として (1) が誤りだということは言えない。
2. しかし (2) の方がよりよく用いられる表現であるという点では冒頭の記述は正しい。

重要なことは、こういう直感的に妥当と思われる結論に誰の手をわずらわすことなくたどり着くことをコーパスが可能にしてくれるということである。

### 2.3. 場所表現

図 2, 図 4 で得られた実際の文をもう少し詳しく見てみよう。冒頭で紹介した参考書ないし受験雑誌の説明では「サイフを忘れた」の正しい英語は leave + 目的語 + 場所表現ということだった。図 4 の文を見てみると、おおむね例 2 の on the plane, 例 3 の across the street のように場所表現を伴う実例が多いのだが、例 1, 例 9 のように場所表現のない例もいくつか見られる。一方、図 2 の forgot my wallet の実例を見てみると、例 2 のように I forgot my wallet at home. と、場所表現が使われている例もある。ただ、forgot my wallet で場所表現が使われるのは 38 件中 3 件だけである。

- (3) a. . . um, actually it looks like I forgot my wallet at home, Officer. (example 2)
- b. I don't have any money. I forgot my wallet at the station. (example 30)
- c. Oh, well... I forgot my wallet in the car. A friend dropped me off. (example 35)

(3a) には at home が使われており、これは場所表現を伴わない I forgot my wallet. が含意する「自分の家に忘れた」が明示的に表されているものである。(3bc) は忘れた場所が自分の家ではないことが表されているという意味で例外ということになる。(3c) では A friend dropped me off. がつづいているので、サイフを忘れたのは自分の車ではないようである。

このように、I forgot my wallet. は2つの例外があるものの、「自分の家に」が含意または明示されており、「自己中心の直示」がこの構文の中のほぼ不可欠な意味的要素である。一方、I left my wallet. では、図4の文が示すように、あらゆる場所表現が共起可能であり、left my wallet の持つ意味要素としては「自己中心の直示」を含む場所表現の含意がないことがわかる。日本語に訳すとすれば「置き忘れる」というのが適切である。

## 2.4. ワイルドカード、レマ (lemma) による検索

ここまで、I {forgot / left} my wallet. という1人称を主語とする文だけを見てきた。図5のように、動詞のレマ (lemma) と任意の語を示すワイルドカード (wild card) を用いることで、1人称過去以外の人称と時制のさまざまな形を見ることができる。

図5: ワイルドカードとレマによる検索

The image shows a search interface with a light blue background. At the top, there are four tabs: 'List' (highlighted with a blue border), 'Chart', 'Word', and 'Browse' (with a green circle icon). Below the tabs is a search input field containing the text '[forgot] \* wallet'. To the right of the input field is a label '[POS]?'. Below the input field are two buttons: 'Find matching strings' (highlighted with a blue border) and 'Reset'.

その検索結果を示すのが図6 (p. 50) である。Forgotten its wallet. というのが目を引いたが、その例文は次のものだった。

- (4) But around the next bend a crop duster roars up from behind the trees, makes an abrupt turn over the water as if it had forgotten its wallet, and heads back.

主語は crop duster (農薬散布用飛行機) で、「あたかもサイフを忘れたかのように」急激なターンをする、というものである。

## 3. コロケーションの問題

### 3.1. I made my homework??

英語の do や make のように、それ自体の持つ意味は希薄で、それと共起する名詞句などとともに述語を作るような動詞を軽動詞 (light verbs) という。軽動詞の選択は外国語

図 6: ワイルドカードとレマによる検索結果

HELP	<input type="checkbox"/>	CONTEXT	ALL FORMS	FREQ
		(SAMPLE):	100 200 500	
1	<input type="checkbox"/>	LEFT MY WALLET		99
2	<input type="checkbox"/>	LEFT HIS WALLET		28
3	<input type="checkbox"/>	LEFT YOUR WALLET		15
4	<input type="checkbox"/>	LEAVE YOUR WALLET		14
5	<input type="checkbox"/>	LEAVE MY WALLET		8
6	<input type="checkbox"/>	LEFT HER WALLET		6
7	<input type="checkbox"/>	LEFT THE WALLET		5
8	<input type="checkbox"/>	LEAVE HIS WALLET		5
9	<input type="checkbox"/>	LEAVE THE WALLET		3
10	<input type="checkbox"/>	LEAVING MY WALLET		3
11	<input type="checkbox"/>	LEAVES HIS WALLET		2
12	<input type="checkbox"/>	LEFT A WALLET		2
13	<input type="checkbox"/>	LEFT , WALLET		1
14	<input type="checkbox"/>	LEAVING YOUR WALLET		1
15	<input type="checkbox"/>	LEAVING THEIR WALLET		1
16	<input type="checkbox"/>	LEAVING THE WALLET		1
17	<input type="checkbox"/>	LEAVING HIS WALLET		1
18	<input type="checkbox"/>	LEAVING HER WALLET		1
19	<input type="checkbox"/>	LEAVES HER WALLET		1
20	<input type="checkbox"/>	LEAVE THAT WALLET		1
		TOTAL		198

HELP	<input type="checkbox"/>	CONTEXT	ALL FORMS	FREQ
		(SAMPLE):	100 200 500	
1	<input type="checkbox"/>	FORGOT MY WALLET		38
2	<input type="checkbox"/>	FORGOT HIS WALLET		12
3	<input type="checkbox"/>	FORGET YOUR WALLET		9
4	<input type="checkbox"/>	FORGOTTEN MY WALLET		8
5	<input type="checkbox"/>	FORGOT YOUR WALLET		5
6	<input type="checkbox"/>	FORGOTTEN HIS WALLET		5
7	<input type="checkbox"/>	FORGET MY WALLET		2
8	<input type="checkbox"/>	FORGOTTEN HER WALLET		2
9	<input type="checkbox"/>	FORGOTTEN ITS WALLET		1
10	<input type="checkbox"/>	FORGETS HIS WALLET		1
		TOTAL		83

の学習において重要な項目で、Orosz (2017) にはスペイン語を母語とする英語学習者が I made my homework, I did a mistake などの誤りをすることについての議論がある。これは I did my homework. をスペイン語に直訳すると動詞に *hacer* ‘make’ が使われるためである。<sup>1</sup>

このように特定の名詞句と共起する軽動詞との関係をコロケーション (collocation) というが、Murphy (2017) の Unit 58 には do と make がそれぞれ共起する名詞句のリストが示されている。表 1 参照。

<b>do</b>	homework	<b>make</b>	a mistake
	housework		an appointment
	(someone) a favor		a phone call
	an exercise		a list
	(your) best		(a) noise
	the laundry		a bed
	the dishes		

表 1: Murphy (2017, Unit 58)

このようなコロケーションの関係について COCA の Collocate の機能を用いて確認することができる。図 7 (p. 51) が Homework の左 2 語以内に現れる動詞の検索と検索の結

<sup>1</sup>Philip Spaelti 氏によるとドイツ語話者にも同様のことが見られる。

果の上位の項目を示したものである。検索結果が示すとおり、homework を目的語に含む

図 7: Homework と共起する動詞を検索する

HELP			FREQ
1	<input type="checkbox"/>	DO	2769
2	<input type="checkbox"/>	DOING	1030
3	<input type="checkbox"/>	DONE	636
4	<input type="checkbox"/>	DID	539
5	<input type="checkbox"/>	HAVE	453
6	<input type="checkbox"/>	'S	220
7	<input type="checkbox"/>	FINISH	198
8	<input type="checkbox"/>	'VE	182
9	<input type="checkbox"/>	HAD	176
10	<input type="checkbox"/>	IS	161

  

List Chart Word Browse **Collocates** A/B KWIC -

homework Word/phrase [POS] ?

VERB+ Collocates verb.ALL+

+ 4 3 2 1 0 0 1 2 3 4 +

Find collocates Reset Help

動詞の圧倒的上位を do の活用形が占めている。

このように、COCA の Collocate 機能を使うことで、表 1 のひとつひとつの項目について共起する動詞を確認することができる。これは文法の本に書かれている内容を自分の目で検証することが可能になったということである。

### 3.2. With careful planning . .

担当している 1 年生のリーディングのテキストに、次のような文があった。

(5) With careful planning, you can do a lot in just two days in Hong Kong.

この文の with careful planning には「仮定」の意味が含まれているということを授業で説明しようと考えたが、それを伝えるには with careful planning を if ではじまる節で書き換えた表現を示すことがよさそうである。そのような表現は if you \_\_ careful planning ということになるが、この下線部には do がいいのだろうか make がいいのだろうか。<sup>2</sup>

この検索を示すのが図 8 である。形容詞+planning の左 3 語以内に現れる動詞を検索

図 8: 形容詞+planning を含む目的語をとる動詞の検索

List Chart Word Browse **Collocates** Compare KWIC -

ADJ planning Word/phrase adj.ALL

VERB+ Collocates verb.ALL+

+ 4 3 2 1 0 0 1 2 3 4 +

Find collocates Reset

している。この検索の結果が図 9 (p. 52) である。これによると、軽動詞としては do が 5

<sup>2</sup>もちろん if you plan carefully . . . と言い換えればいいのだが、なるべく形式が近い表現を用いる方が 1 年生



図 9: 形容詞+planning を含む目的語をとる動詞

HELP		CONTEXT	FREQ
1	<input type="checkbox"/>	IS	145
2	<input type="checkbox"/>	REQUIRES	69
3	<input type="checkbox"/>	WAS	63
4	<input type="checkbox"/>	REQUIRE	59
5	<input type="checkbox"/>	DO	58
6	<input type="checkbox"/>	HAVE	54
7	<input type="checkbox"/>	'S	46
8	<input type="checkbox"/>	TAKES	31
9	<input type="checkbox"/>	ARE	28
10	<input type="checkbox"/>	BE	25
11	<input type="checkbox"/>	ENGAGE	25
12	<input type="checkbox"/>	BEEN	24
13	<input type="checkbox"/>	WILL	24
14	<input type="checkbox"/>	PROVIDE	23
15	<input type="checkbox"/>	HAD	22
16	<input type="checkbox"/>	WOULD	22
17	<input type="checkbox"/>	MAKE	20

位で 58 件, make は 17 位で 20 件である。

コーパスから得られる do を含む用例で (5) の careful planning と意味の上で平行していると思われる例文をいくつか列挙してみる。

- (6) a. He said the Defense Department had yet to **do detailed planning** for a potential sequester. (example 12)
- b. The best that we can do is to **do thoughtful planning** to accommodate the growth steamroller. (example 45)
- c. Scout leaders would have to **do meticulous planning**. (example 50)
- d. These are a few of the clues that tell you it's time to **do some serious planning**. (example 55)

これらの他にも do が形容詞+planning に対する軽動詞と考えるのが妥当であることを支持する例が多数見られた。

一方, make を含む用例では, make が明確に軽動詞として使われていると思われる例文は次の 1 例だけだった。

- (7) We should **make active planning** for the use of military forces in peacetime, . . . (example 5)

Philip Spaelti 氏 (p.c.) によると, この文はよい文とは感じられず, 自分がコピーエディタであれば make を維持するなら We should make active plans と書き直すところだという。この検索に関する限り make が軽動詞として使われていると思われる例は (7) の 1 例だけであり, 他のものは

- (8) a. . . it is the limitations of human knowledge that **make socialist planning** an impossible dream. (example 1)  
 b. Schools should **make mutual planning** a high priority. (example 9)  
 c. . . strong emotional associations that may **make objective planning** hard at first. (example 16)

のように、make が「～を～にする」という意味で使われている（使役変化動詞）ものや、

- (9) a. . . only if the residents themselves can **make crucial planning** decisions. (example 12)  
 b. Many older people **make financial planning** decisions based on purchasing and locking into a rate for five years, . . (example 18)

のように、形容詞+planning が decision とともに複合語を形成しており、実際のつながりは make . . decision であるもの などである。

以上の考察より、コーパスで検索できる用例の数の比較から、(5) で with careful planning に「仮定」の意味があることを説明するために if を含む文を提示するには

- (10) If you do careful planning, you can do a lot in just two days in Hong Kong.

をパラフレーズとして示すのがよいという結論が得られる。

この考察は、コーパスが非常に微妙な軽動詞の語彙選択におけるきわめてパワフルなツールであることを示しているが、同時に単にヒット件数だけで判断することは戒められるべきであり、用例の中身を慎重に見極める必要があることを示している。

#### 4. Not many, few, very few

この節ではコーパスを用いることによって、英文法のテキストに書かれている内容についてその妥当性を検証することが可能であることを示したい。

Murphy (2012, Unit 87) には little, few の意味を説明するのに、次のような図式が示されている。

- (11) little = not much, few = not many

これはあくまで学習者のために示した目安であって、言語学的に妥当な記述をめざしたものでないことは明らかなが、little, few が not much, not many と違う性質を持つことはいろいろな角度から示すことができる。

##### 4.1. 否定対極表現 (NPI)

Murphy (2012, Unit 87) が(11)によって示そうとしたのは、little, few に否定の意味が含まれているということだと思われる。しかし、否定の意味ということと言うと few, littleの方が not many, not much より否定表現としての性質を強く持っている。

否定表現としての性質と言え、理論言語学では否定対極表現 (NPI: negative polarity items) との共起ということが考えられる。英語の場合 any, ever などの表現が否定表現の

ふつう右側のどこかに現れる。次の例文はいずれも COCA からのもの。

- (12) a. **Nobody** says **anything** to **any** of the children.  
 b. **Nobody** in America has **ever** seen **anything** like this, . .

この NPI との共起という観点から few と not many を比較してみよう。図 10 は few の右 4 語以内に ever が生起する件数を表示したものである。<sup>3</sup> この検索によって得られる用

図 10: Few の右 4 語以内に ever が生起する件数

CONTEXT	FREQ
EVER	1328

例を 3 例示しておく。

- (13) a. **Few ever** get the graceful exit we want. (example 3)  
 b. There are **few** books which have **ever** motivated me to read every word written by the author. (example 1017)  
 c. **Few** work groups were **ever** recruited from only one cluster. (example 1328)

では, not many が NPI ever と共起する例はどのくらいあるのだろう。

図 11: Not many の右 4 語以内に ever が生起する件数

CONTEXT	FREQ
EVER	25

図 11 が示すように, ヒット件数はわずか 25 件である。実例を 2 例示す。

- (14) a. I weigh 120 pounds. And **not many** things have **ever** fit me. (example 2)  
 b. He used ink and brushes and some watercolors but he created life with that, which I think is what every cartoonist aspires to, but **not many** of us **ever** get to achieve that. (example 3)

件数は少ないとは言え, これらの例は当然のことながら申し分のない文である。

<sup>3</sup>Few ...any を含む文は 2,400 件以上ヒットした。

- (i) a. For the young generation protesting, **few** have **any** prospects of a job or a future . . . (example 3)  
 b. **Few** Russians had **any** real consciousness that they were living in another country. (example 1116)  
 c. . . but **few** of them developed **any** democratic traditions. (example 1621)

しかしこれらの例の中には, 次のような if any を含む例が 1,000 件以上あった。

- (ii) a. The tax rate in the US is high, but **few if any** major corporations pay anywhere near the top rate.  
 b. Due to the over-expansion of the CME after the collision, there are **few, if any**, signs of interaction in in situ measurements.

この理由で, few ...any についてここで言及することは取りやめた。

#### 4.2. 否定倒置構文 (negative inversion)

NPI との共起関係で few の方が not much より否定表現としての力が強いということを言うにはもう少し考察が必要なようである。

この節では、否定表現に特有のもうひとつの構文を考えてみる。Jackendoff (1972) などによって考察されている否定倒置構文 (negative inversion) である。

- (15) a. **Never did anyone** give John anything.  
 b. **Nothing could I** find.

この構文では文頭に否定表現が現れ、それに加えて主語と助動詞の倒置が起こる。

この構文で文頭に現れる否定表現の位置に little を置いてみた時に、倒置構文は可能だろうか。直感的に Little did I {dream / know} that . . などという文はけっこうありそうな気がするので、次のような検索をしてみた。この検索と検索結果が図 12 である。検索窓にある \_vd は助動詞 do, \_pp は代名詞 (personal pronoun) を意味する。

図 12: Little do 代名詞 で検索

HELP	<input type="checkbox"/>	CONTEXT (SAMPLE): 100 200 500	ALL FORMS	FREQ
1	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID I		477
2	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID HE		150
3	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID THEY		134
4	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID WE		112
5	<input type="checkbox"/>	LITTLE DO THEY		98
6	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID SHE		86
7	<input type="checkbox"/>	LITTLE DOES HE		41
8	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID YOU		27
9	<input type="checkbox"/>	LITTLE DOES SHE		24
10	<input type="checkbox"/>	LITTLE DO YOU		21
11	<input type="checkbox"/>	LITTLE DO WE		8
12	<input type="checkbox"/>	LITTLE DO I		7
13	<input type="checkbox"/>	LITTLE DID IT		2
14	<input type="checkbox"/>	LITTLE DOES IT		2

  

List Chart Word Browse +

助動詞 do のさまざまな活用形とあらゆる人称代名詞の組み合わせで、1,100 件を超える文が存在することがわかった。以下その中からいくつか具体例を列挙する。

- (16) a. **Little did I** know I would need his help sooner rather than later.  
 b. **Little did he** realize that rates would come down virtually to zero, . .  
 c. . . yet so **little do they** betray any external appearance of injury, . .  
 d. . . **little does she** suspect that the trouble that will threaten to undo her comfortable family will come from another quarter.  
 e. But this was like saying that he had a flatbed truck in southern Saudi Arabia, so **little did it** appear to weigh on him.

このように、little は否定倒置構文を引き起こすという意味で十分に否定表現としての性質を持つことが確認できた。では、Murphy (2012, Unit 87) で little = not much とされた not much は否定倒置構文を引き起こすだろうか。図 12 の検索窓の little を not much で置き換えて見ればこの検索ができる。しかし、この検索をしても Sorry, there are no matching records. というメッセージが出るのみである。Not much did I {dream / know} that . . . という文は存在しないということである。

このことから、否定倒置構文にもとづいて、little が not much よりも否定表現としての性質を強く持つということを結論づけてよさそうである。

Murphy (2012, Unit 87) には、little = not much, few = not many とした同じ箇所にも We often use **very little** and **very few**. と記している。ごく普通に考えると very little は little を強調したものだから very little の方が little より否定表現としての性質が強いということになりそうである。しかし、英語の語感がある人は、むしろその反対で、very が little の否定の意味を弱めるという直感があるのではないだろうか。

この点を、very little が little と同じように否定倒置構文を引き起こすかという観点で検証することができる。図 12 の検索窓の little を very little で置き換えて見ればこの検索ができる。

very little \_vd \_pp

この検索で得られる用例は次の 1 件のみである。

- (17) We practiced with another one that was identical (in official content) but you never practiced with the flight gear. **Very little** did you ever see the flight hardware.

1 件のみなので、これは例外的な例と考えるべきなのだろうか。この文には NPI ever も使われているが、その存在によって否定の意味が強まっているとも考えられる。ただし、Philip Spaelti 氏 (p.c.) によると、この文は ever のありなしと無関係に問題のない文だということである。

ともあれ、little の方が very little より否定表現としての性質を強く持っていることを、前者の方が後者よりも否定倒置構文を引き起こすことを示す例文の数が圧倒的に多いということを根拠に結論づけられそうである。

## 5. Cause はネガティブ？

内田 (2014) は COCA の使用法をステップを踏んで指導してくれる、日本語で書かれた非常にありがたいガイドである。

内田 (2014) は 5 節で動詞の cause が目的語として共起する名詞を検索する方法を解説しながら、cause の目的語に現れる名詞がネガティブな意味を持つ傾向があるとしている。動詞 cause の右 3 語以内に現れる名詞を検索し、その検索結果について次のように書いている。

このリストを見ると、problem, damage, death, pain, trouble, cancer など、確かにネガティブな意味を持つ単語と共起していることがわかります。この結果

は, Stubbs の主張を支持するものであると言えるでしょう。

言及されているのは Stubbs (1995) で, この論文ではこのような “unpleasant” collocation を持つような語の性質を semantic profile という用語で表現している。Cause について書かれている方法で検索した時 検索結果の上位をこれらの語が占めていることは事実のようであり, それが cause の持つ語彙的特性のひとつの側面を示唆しているとは言えそうである。その特性の側面がこの語の使用においてひとつの「傾向」を示しているのだが, これが cause の本質的な特性だろうか。

もしネガティブな意味を持つ目的語と共起する ということが cause の本質的な特性であれば, cause はポジティブな意味を持つ目的語と共起できないはずである。しかし, それぞれ用例の数は少ないものの, happiness (12), success (16), improvements (13), joy (16), pleasure (17) など, 思いつくまま検索してみるといずれも実例が存在する。<sup>4</sup> ( ) の数字はそれぞれヒットする用例の中から該当しないと思われる用例を目視で除いた数である。

- (18) a. . . utilitarians point out that sometimes violating a moral rule **causes** more **happiness** than following the rule.  
 b. We need to understand what **caused** America's **success**, . . .  
 c. Consistent evidence that demonstrates that the recommended practice **causes** **improvements** and that the effects can be generalized to a range of students and settings.  
 d. Purchased objects can **cause** **pleasure**, which may or may not permanently affect happiness.

ネガティブな意味を持つ語と共起するという semantic profile が cause の本質的な特性であれば, これらの文は存在しないか, いずれも不自然さを感じさせるものとなるはずである。

より重要なことは, 次のような文が存在するということである。

- (19) a. The application of effective modern medical and public health technologies has **caused** the **death** rate in Bangladesh to fall rapidly in the twentieth century.  
 b. A kind of lightness overtook her, **causing** the **pain** to diminish just a little enough for her to speak clearly.  
 c. And so, it's a very rare event, but it got me wondering about the host of defenses that might have been involved in **causing** this patient's **cancer** to disappear.  
 d. The second was convinced that making art had **caused** her **cancer** to go into remission.

<sup>4</sup>Stubbs (1995, his (15)) は cause と共起する少数の一見してポジティブに見えるコロケーションとして次の例を示している。

(i) caused such widespread interest; caused a pleasurable mental state; caused him to smile; caused the little boy to roll about with laughter; a cause to display such amiability.

その上で “A larger context reveals even some of these as questionably positive.” としているが, some of these が何を指すのかもその根拠も示していない。

これらの文は *cause* の後に *death, pain, cancer* というネガティブな意味を持つ語が共起している文だが、たとえば (19a) について言えば主語の *the application of effective . .* という表現についてのポジティブな評価を表している文である。

動詞 *cause* のより本質的な特性というべきなのは、それが使役構文を形成する動詞だということで、もし *cause* の *semantic profile* を考えるのであれば、(19c) の場合なら *cause* と共起しているのが *this patient's cancer* だということではなく、*this patient's cancer to disappear* という不定詞節だということである。

## 6. 終わりに

コーパスはパワフルなツールだが、使い方がわかっても、それでどういうことができるのか、使うことでどういう効果があるのかということに見通しがなければ使うことに意味を見いだせないものである。

この文章では、コーパスを使用することで英語の学習や研究にどういう効果があるかという観点で考察した。2 節では「サイフを忘れた」という表現をもとにして英語でこんなことが言えるかを調べたり確認したりすることに使えることを書いたが、私自身英文で論文やメールを書いている時に こういう言い方はあるのだろうか と思ってコーパスで検索することがよくある。そこで自分が意図しているような意味の文が出てくると、安心してその表現を使うことができる。

3 節では「軽動詞」を中心にコロケーションの問題を考えた。ここでも *careful planning* で使える軽動詞が *do* なのか *make* なのかという風に英文を書く上で実際的な効果があることを示した。

4 節では *few, little* について *NPI* との共起、否定倒置構文の存在を調べることにコーパスが使えることを見たのだが、ここでは言語を観察する上で「量」と「質」という問題を考えさせられた。*Few . . . ever* が共起する文は 1,300 件以上ヒットするのに対して *not many . . . ever* は 25 件しかない。しかしヒット件数の少ない *not many . . . ever* の実際の例を見てみると、何ら問題のない文が見られる。このことをどう考えたらいいのだろう。

否定倒置構文に関連して *little* の方が *very little* よりむしろ否定表現としての性質が強そうだということについて、*little did I . .* のような文が 1,100 件以上ヒットするのに、*very little did you . .* という文がわずか 1 件しかヒットしないということを見た。しかし、そのわずか 1 件ヒットした実例を見てみると特に問題がある文でもないようだった。これをどう考えたらいいのか。コーパスが言語データの「量」と「質」という問題を突きつけているように思える。

5 節では動詞 *cause* と共起する名詞の意味的性質から *cause* の *semantic profile* を結論づけるという先行研究があることを見たのだが、ここでも *cause* の目的語の位置に *happiness, success* などポジティブな意味をもつ名詞が少数ながら現れる文が何ら問題のない文であることを観察した。ここでも言語データの「量」と「質」という問題に突き当たった。コーパスを研究に活用する研究者が言語に対する洞察を持っていなければならないことを改めて痛感した。

## 参考文献

- Jackendoff, Ray S. (1972) *Semantic interpretation in generative grammar*. Cambridge, Mass.: MIT Press.
- Murphy, Raymond (2012) *English grammar in use*. Cambridge, UK: Cambridge University Press.
- Murphy, Raymond (2017) *Basic Grammar in Use: Student's Book with Answers and Interactive eBook*. Cambridge, UK: Cambridge University Press.
- Orosz, Agnes (2017) Helping Spanish speakers better understand and use verb-noun collocations in English. *MEXTESOL Journal* 41(3): 1–9.
- Stubbs, Michael (1995) Collocations and semantic profiles: On the cause of the trouble with quantitative studies. *Functions of language* 2(1): 23–55.
- 内田諭 (2014) 「COCA を使ったコロケーションの検索」『Lingua (研究社ウェブマガジン)』, <http://www.kenkyusha.co.jp/uploads/lingua/prt/13/UchidaSatoru1408.html>.

**Author's web site:** <https://researchmap.jp/KelKroydon/?lang=japanese>

(受付日: 2021 年 1 月 10 日)